

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書  
(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人八女発心会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 ( ☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり )
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人  
☐ 出資額限度法人 ☒ その他
- ③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用
- 注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)
- (2) 事務所の所在地 福岡県八女郡広川町大字新代2316番地
- 注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
- (3) 設立認可年月日 平成4年3月2日
- (4) 設立登記年月日 平成4年3月5日
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	姫野 亜紀裕	姫野病院管理者
理 事	姫野 信吉	
同	池之上 公	介護老人保健施設舞風台管理者
同	姫野 友美	
同	北山 弥栄奈	
同	姫野 那甫熙	
同	姫野 こなみ	
監 事	久保 史明	

- 注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第46条の5第6項参照)
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第46条の4第1項参照)

## 2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種類	施設の名称	施設の医療機関コード 又は介護事業所番号	開設場所	許可病床数
病院	姫野病院	4013519089	福岡県八女郡広川町大字新代 2316番地	一般病床 140床
介護老人保健施設	介護老人保健施設舞風台	4053580082	福岡県八女郡広川町大字水原 1498番地	入所定員 46名 通所定員 60名
介護老人保健施設	介護老人保健施設舞風台ユニットケア棟	4053580090	福岡県八女郡広川町大字水原 1498番地	入所定員 54名

- 注） 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を【 】書で記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考
専門学校久留米リハビリテーション学院	福岡県八女郡広川町大字水原 1541番地	
姫野病院居宅介護支援センター	福岡県八女郡広川町大字新代 2316番地	
サービス付き高齢者向け住宅舞風台	福岡県八女郡広川町大字水原 1498番地11	
24時間ケアセンターひめの	福岡県八女郡広川町大字新代 2316番地	
デイサービス舞風台	福岡県八女郡広川町大字水原 1498番地11	
有料老人ホーム姫野タワー棟	福岡県八女郡広川町大字新代 2316番地	

訪問看護ステーションひめの	福岡県八女郡広川町大字新代 2 3 1 6 番地	
訪問介護ひめの	福岡県八女郡広川町大字新代 2 3 1 6 番地	
有料老人ホーム歌楽楽	福岡県八女郡広川町大字新代 2 2 0 3 番地	
八女地区病児・病後児保育施設 おひさま	福岡県八女郡広川町大字太田 4 1 0 番地 3	
ナーシングホーム奏	福岡県八女郡広川町大字新代 2 3 1 6 番地	
はなまる保育園	福岡県八女郡広川町大字新代 2 3 4 3 番地	
訪問介護舞風台	福岡県八女郡広川町大字水原 1 4 9 8 番地 1 1	
訪問入浴ひめの	福岡県八女郡広川町大字新代 2 3 1 6 番地	
保育園おひさま	福岡県八女郡広川町大字太田 4 1 0 番地 3	
広川町健康長寿を延ばす運動ジム 事業【広川町の委託】	福岡県八女郡広川町大字新代 2 3 1 6 番地	
看護師の特定行為に係る研修事業 の経営	福岡県八女郡広川町大字新代 2 3 1 6 番地	
配食サービスひめのの経営	福岡県八女郡広川町大字新代 2 3 1 6 番地	
配食サービス舞風台の経営	福岡県八女郡広川町大字水原 1 4 9 8 番地 1 1	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に  
【        】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
該当なし		

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和6年 6月23日 第33期（令和5年度）決算の決定  
理事および幹事の任期満了に伴う改選  
役員報酬の承認  
令和7年 3月23日 令和7年度予算の承認

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

該当なし

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

- (6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

該当なし

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

- (7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

該当なし

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

該当なし

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

(9) そ の 他

該当なし

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は  
廃止等を記載する。(任意)

様式 2

法人名	医療法人八女発心会	※医療法人整理番号	0	0	8	5	2
所在地	福岡県八女郡広川町大字新代2316番地						

財 産 目 録  
(令和7年3月31日現在)

1. 資 産 額	11,371,171 千円
2. 負 債 額	7,616,916 千円
3. 純 資 産 額	3,754,255 千円

(内 訳)		(単位：千円)
区 分		金 額
A 流 動 資 産		4,219,574
B 固 定 資 産		7,151,597
C 資 産 合 計 (A + B)		11,371,171
D 負 債 合 計		7,616,916
E 純 資 産 (C - D)		3,754,255

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。	
土 地	( <input checked="" type="checkbox"/> 法人所有 <input type="checkbox"/> 賃借 <input type="checkbox"/> 部分的に法人所有 (部分的に賃借) )
建 物	( <input checked="" type="checkbox"/> 法人所有 <input type="checkbox"/> 賃借 <input type="checkbox"/> 部分的に法人所有 (部分的に賃借) )

## 様式 3 - 1

法人名 医療法人八女発心会

※医療法人整理番号 00852

所在地 福岡県八女郡広川町大字新代2316番地

## 貸 借 対 照 表

(令和7年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	4,219,574	I 流 動 負 債	1,460,601
現金及び預金	3,067,236	買 掛 金	200,060
事業未収金	1,074,778	短期借入金	20,000
たな卸資産	45,518	一年内返済長期借入金	295,652
前払費用	16,212	未 払 金	129,968
短期貸付金	80	未 払 給 与	257,231
未 収 入 金	20,747	未 払 法 人 税 等	91,110
立 替 金	1,451	未 払 消 費 税 等	5,749
貸倒引当金	△ 6,448	一年内返済割賦未払金	17,961
		前 受 金	149,777
		預 り 金	67,783
II 固 定 資 産	7,151,597	リ ー ス 債 務	6,608
1 有 形 固 定 資 産	5,931,170	賞 与 引 当 金	218,702
建物	3,518,905		
建物附属設備	731,589		
構築物	132,911		
機械装置	1,169		
車両運搬具	17,158	II 固 定 負 債	6,156,315
工具器具備品	186,229	長期借入金	5,106,862
土地	1,286,391	割 賦 未 払 金	18,917
リース資産	6,201	退職給付引当金	689,191
建設仮勘定	26,982	役員退職慰労引当金	341,345
その他の有形固定資産	23,635		
2 無 形 固 定 資 産	19,988	負 債 合 計	7,616,916
電話加入権	1,901		
ソフトウェア	17,459	純 資 産 の 部	
その他の無形固定資産	628	科 目	金 額
3 そ の 他 の 資 産	1,200,439	I 積 立 金	3,754,255
繰延消費税	28,301	設立等積立金	50,000
出 資 金	60	学校建物圧縮積立金	315,766
敷金保証金	3,388	備品等購入積立金	16,000
長期前払費用	24,810	修繕積立金	114,000
保険積立金	756,661	繰越利益積立金	3,258,489
長期貸付金	19,557		
長期未収入金	51,272	II 評価・換算差額等	—
繰延税金資産	360,208	純 資 産 合 計	3,754,255
貸倒引当金	△ 43,818	負債・純資産合計	11,371,171
資 産 合 計	11,371,171		

様式 4 - 1

法人名 医療法人八女発心会

※医療法人整理番号 00852

所在地 福岡県八女郡広川町大字新代2316番地

損 益 計 算 書  
(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		5,158,859
2 事業費用		
(1)事業費	4,502,394	
(2)本部費	303,567	4,805,961
本来業務事業利益		352,898
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		2,002,858
2 事業費用		1,753,786
附帯業務事業利益		249,072
事業利益		601,970
II 事業外収益		
受取利息配当金	18	
雑収入	94,889	94,907
III 事業外費用		
支払利息	40,876	
その他の事業外費用	1,968	42,844
経常利益		654,033
IV 特別利益		
保険解約返戻金	41,877	
損害保険金収入	34,291	76,168
V 特別損失		
固定資産除却損	482	
裁判訴訟費用	1,881	
損害賠償金	33,485	35,848
税引前当期純利益		694,353
法人税・住民税及び事業税	171,673	
法人税等調整額	△ 11,735	159,938
当期純利益		534,415



法人名 医療法人八女発心会  
所在地 福岡県八女郡広川町大字新代2316番地

※医療法人整理番号 00852

関係事業者との取引の状況に関する報告書

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業の内容	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
取引無し									

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	姫野 信吉	医師	当法人理事、当法人借入金 の債務保証	佐賀銀行からの借入金 に対する債務保証	1,000,000	短期借入金 長期借入金	35,712 690,496

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

原本に相違ないことを証明します

25年6月20日

福岡県八女郡広川町大字新代2316番地

医療法人八女発心会

理事長 姫野亜紀裕

様式 6

監事監査報告書

医療法人八女発心会

理事長 姫野亜紀裕 殿

私は、医療法人八女発心会の令和6会計年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和7年6月4日

医療法人八女発心会

監事

久保史明

## 重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

### 1 資産の評価基準及び評価方法

#### ①たな卸資産

- ・医薬品 最終仕入原価法に基づく原価法
- ・商品 最終仕入原価法に基づく原価法
- ・食材品 最終仕入原価法に基づく原価法

### 2 固定資産の減価償却の方法

#### ①有形固定資産

定率法によっております。ただし平成 10 年 4 月 1 日以降に取得した建物及び平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備ならびに構築物は定額法によっております。

#### ②無形固定資産

定額法によっております。

なお法人利用のソフトウェアについては、法人における利用可能期間（5 年）に基づいております。

#### ③リース資産

所有権移転外ファイナンスリース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

### 3 引当金の計上基準

#### ①貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法に規定する法定繰入率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

#### ②賞与引当金

職員に対し支給する賞与の支出に備えるため、当会計年度の負担する支給見込額に基づき計上しております。

#### ③退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、当医療法人は、前々会計年度末日の負債総額が 200 億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

#### ④役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、役員退職慰労金支給規定に基づく期末要支給額を計上しております。

#### 4 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

#### 5 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

① 有形固定資産の減価償却累計額 5,441,269 千円

② 特定目的積立金 当期積立額

修繕積立金 22,000 千円

③ 繰延税金資産の発生の主な原因は、賞与引当金、退職給与引当金、役員退職慰労引当金、減価償却超過額の否認等であります。

#### 6 担保に供されている資産に関する事項

期末帳簿価額	担保の種類	極度額	債務期末残高
建物 3,394,422 千円 土地 1,229,145 千円	根抵当権	極度額 5,998,000 千円	5,392,594 千円

#### 7 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

種類	氏名	職業	医療事業者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員	姫野信吉	医師	当法人理事、当法人借入金の債務保証	佐賀銀行からの借入金 に対する債務保証	1,000,000	短期借入金 長期借入金	35,712 690,496

様式第四号

法人名 医療法人八女発心会  
所在地 福岡県八女郡広川町大字新代2316番地

※医療法人整理番号 00852

純 資 産 変 動 計 算 書  
(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位:千円)

	積立金					評価・換算差額等		純資産合計
	設立等 積立金	学校建物 圧縮積立金	備品等購入 積立金	修繕積立金	繰越利益 積立金	積立金合計	その他有価証 券評価差額金	評価・換算 差額等合計
令和6年3月31日 残高	50,000	315,766	16,000	92,000	2,746,074	3,219,840	—	3,219,840
会計年度中の変動額								
当期純利益					534,415	534,415		534,415
備品等購入積立金積立					0	0		0
修繕積立金積立				22,000	△ 22,000	0		0
会計年度中の変動額合計	0	0	0	22,000	512,415	534,415	—	534,415
令和7年3月31日 残高	50,000	315,766	16,000	114,000	3,258,489	3,754,255	—	3,754,255

1. 純資産の変動事由及び金額の掲載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
2. 評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて評価・換算差額等の合計額を、前会計年度末残高、会計年度中の変動額及び会計年度末残高に区分して記載すること。
3. 積立金及び純資産の各会計欄の記載は省略することができる。

## 様式第五号

法人名 医療法人八女発心会

※医療法人整理番号 00852

所在地 福岡県八女郡広川町大字新代2316番地

## 有形固定資産等明細表

資産の種類	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却累計額又は償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
有形固定資産	建物	5,264,499		5,264,499	1,745,594	128,924	3,518,905
	建物附属設備	2,914,551	450	2,915,001	2,183,412	123,655	731,589
	構築物	573,773	4,265	578,038	445,127	28,325	132,911
	機械及び装置	4,354		4,354	3,185	411	1,169
	車両運搬具	34,766	18,901	52,964	35,806	8,780	17,158
	工具器具備品	843,958	80,185	922,884	736,655	70,863	186,229
	土地	1,286,391		1,286,391	0	0	1,286,391
	リース資産	202,072		186,961	180,760	13,402	6,201
	建設仮勘定	12,461	26,982	26,982	0	0	26,982
	その他の有形固定資産	109,959	24,406	134,365	110,730	22,039	23,635
	計	11,246,784	155,189	11,372,439	5,441,269	396,399	5,931,170
無形固定資産	電話加入権	1,901		1,901	0	0	1,901
	ソフトウェア	49,744	8,016	55,294	37,835	7,918	17,459
	その他の無形固定資産	1,257		1,257	629	63	628
	計	52,902	8,016	58,452	38,464	7,981	19,988
その他の資産	繰延消費税	79,150	5,402	79,226	50,925	14,900	28,301
	出資金	60		60			60
	敷金保証金	3,388		3,388			3,388
	長期前払費用	7,109	23,895	26,499	1,689	299	24,810
	保険積立金	414,269	386,085	756,661			756,661
	長期貸付金	18,202	2,959	19,557			19,557
	長期未収入金	51,272		51,272			51,272
	繰延税金資産	348,473	11,735	360,208			360,208
	貸倒引当金	△ 43,818		△ 43,818			△ 43,818
	計	878,105	430,076	1,253,053	52,614	15,199	1,200,439

1. 有形固定資産、無形固定資産及びその他の資産について、貸借対照表に掲げられている科目の区分により記載すること。

2. 「前期末残高」、「当期増加額」、「当期減少額」及び「当期末残高」の欄は、当該資産の取得原価によって記載すること。

3. 当期末残高から減価償却累計額又は償却累計額を控除した残高を、「差引当期末残高」の欄に記載すること。

4. 合併、贈与、災害による廃棄、滅失等の特殊な事由で増加若しくは減少があった場合又は同一の種類のものについて資産の総額の1%を超える額の増加は、その事由を欄外に記載すること。若しくは減少があった場合（ただし、建設仮勘定の減少のうち各資産科目への振替によるものは除く。）

5. 特別の法律の規定により資産の再評価が行われた場合その他特別の事由により取得原価の修正が行われた場合には、当該再評価差額等については、「当期増加額」又は「当期減少額」の欄に内書（括弧書）として記載し、その増減の事由を欄外に記載すること。

6. 有形固定資産又は無形固定資産の金額が資産の総額の1%以下である場合又は有形固定資産及び無形固定資産の当該会計年度におけるそれぞれの増加額及び減少額がいずれも当該会計年度末における有形固定資産又は無形固定資産の総額の5%以下である場合には、有形固定資産又は無形固定資産に係る記載中「前期末残高」、「当期増加額」及び「当期減少額」の欄の記載を省略することができる。なお、記載を省略した場合には、その旨注記すること。

## 様式第六号

法人名 医療法人八女発心会

※医療法人整理番号 00852

所在地 福岡県八女郡広川町大字新代2316番地

## 引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金 (流動資産)	6,466	3,166	3,184	0	6,448
貸倒引当金 (投資その他資産)	43,818	0	0	0	43,818
賞与引当金	235,690	538,715	555,703	0	218,702
退職給付引当金	648,969	101,672	61,450	0	689,191
役員退職慰労引当金	320,548	20,797	0	0	341,345

1. 前期末及び当期末貸借対照表に計上されている引当金について、設定目的ごとの科目の区分により記載すること。
2. 「当期減少額」の欄のうち「目的使用」の欄には、各引当金の設定目的である支出又は事実の発生があったことによる取崩額を記載すること。
3. 「当期減少額」の欄のうち「その他」の欄には、目的使用以外の理由による減少額を記載し、減少の理由を注記すること。

様式第七号

法人名 医療法人八女発心会  
所在地 福岡県八女郡広川町大字新代2 3 1 6 番地

※医療法人整理番号 0 0 8 5 2

借 入 金 等 明 細 表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	20,000	20,000	0.38%	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	306,329	295,652	0.734%	—
1年以内に返済予定の リース債務	15,141	6,608	—	—
1年以内に返済予定の 割賦未払金	31,471	17,961	—	—
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	5,402,514	5,106,862	0.734%	2026年4月1日 ～2045年7月31日
リース債務（1年以内に 返済予定のものを除く。）	6,838	0	—	—
割賦未払金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	23,088	18,917	—	2026年4月1日 ～2029年2月28日
その他の有利子負債	—	—	—	—
合 計	5,805,381	5,466,000	—	—

- (注) 1. 「平均利率」については、借入金等の期末残高に対する加重平均利率を記載しております。  
 なお、リース債務について、リース料総額に含まれる利息相当額を定額法により各事業年度に配分しているため、「平均利率」を記載しておりません。
2. 長期借入金、リース債務及び割賦未払金（1年以内に返済予定のものを除く）の貸借対照表日後5年以内における1年ごとの返済予定額の総額

区分	1年超2年以内 (千円)	2年超3年以内 (千円)	3年超4年以内 (千円)	4年超5年以内 (千円)
長期借入金	285,732	285,732	285,732	285,732
リース債務	0	0	0	0
割賦未払金	9,436	6,296	3,185	0



## 様式第八号

法人名 医療法人八女発心会

※医療法人整理番号 00852

所在地 福岡県八女郡広川町大字新代2316番地

## 有 価 証 券 明 細 表

## 【債 券】

銘 柄	券 面 総 額 (千円)	貸借対照表価額 (千円)
無し		
計		

## 【その他】

種 類 及 び 銘 柄	口 数 等	貸借対照表価額 (千円)
無し		
計		

1. 貸借対照表の流動資産及びその他の資産に計上されている有価証券について記載すること。
2. 流動資産に計上した有価証券とその他の資産に計上した有価証券を区分し、さらに満期保有目的の債券及びその他有価証券に区分して記載すること。
3. 銘柄別による有価証券の貸借対照表価額が医療法人の純資産額の1%以下である場合には、当該有価証券に関する記載を省略することができる。
4. 「その他」の欄には有価証券の種類（金融商品取引法第2条第1項各号に掲げる種類をいう。）に区分して記載すること。

## 様式九の二号

法人名 医療法人八女発心会

所在地 福岡県八女郡広川町大字新代2316番地

※医療法人整理番号 00852

事業費用明細表  
(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 材料費		
期首棚卸高	30,910	
薬品仕入高	243,678	
医療用消耗品仕入	265,787	
食材仕入高	133,461	
期末棚卸高	44,059	629,777
II 給与費		
役員報酬	86,828	
給与	2,948,897	
賞与引当金繰入額	538,715	
退職給付費用	101,672	
役員退職慰労引当金繰入額	20,797	
法定福利費	490,673	4,187,582
III 委託費		
外注費	44,477	44,477
IV 経費		
福利厚生費	71,584	
消耗品費	93,946	
事務消耗品費	33,019	
賃借料	58,864	
保険料	81,728	
修繕費	38,959	
減価償却費	404,679	
旅費交通費	13,884	
通信費	19,473	
水道光熱費	140,442	
管理諸費	260,971	
顧問料	35,389	
支払手数料	25,328	
奨学費	24,668	
広告宣伝費	19,633	
租税公課	58,541	
接待交際費	2,701	
新聞図書費	4,214	
諸会費	29,268	
会議費	9,437	
送迎費	23,005	
車両費	481	
リース料	23,205	
寄付金	11,040	
雑費	10,639	
繰延消費税償却	14,900	
控除対象外消費税	155,878	
貸倒引当金繰入額	3,166	1,669,042
V 売上原価		
商品（又は製品）期首たな卸高	1,645	
当期商品仕入高（又は当期製品製造原価）	28,683	
商品（又は製品）期末たな卸高	1,459	28,869
VI その他の事業費用		
事業費用計		6,559,747

1. 売上原価には、当該医療法人の開設する病院等の業務に附随して行われるもの（売店等）及び収益業務のうち商品の仕入れ又は製品の製造を伴う業務について記載すること。
2. I から VI の中科目区分は、省略する様式によることもできる。
3. その他の事業費用には、研修費のように材料費、給与費、委託費及び経費の二つ以上の中区分に係る複合費として整理した費目を記載する。

原本に相違ないことを証明します

25年6月0日

福岡県八女郡広川町大字新代2316番地

独立監査人の監査報告書

医療法人八女発心会

理事長 姫野亜紀

令和7年6月22日

医療法人八女発心会

理事会 御中

馬場公認会計士事務所

福岡県筑後市

公認会計士 馬場 乾夫

監査意見

私は、医療法第51条第5項の規定に基づき、医療法人八女発心会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの第34会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私は、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私の責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私の計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私が報告すべき事項はない。

#### 計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

#### 計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

#### 利害関係

法人と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上